



コレクション♥
リコレクション
Re-Collection Vol. **3**



コレクション♥
リコレクション
Re-Collection Vol. **3**

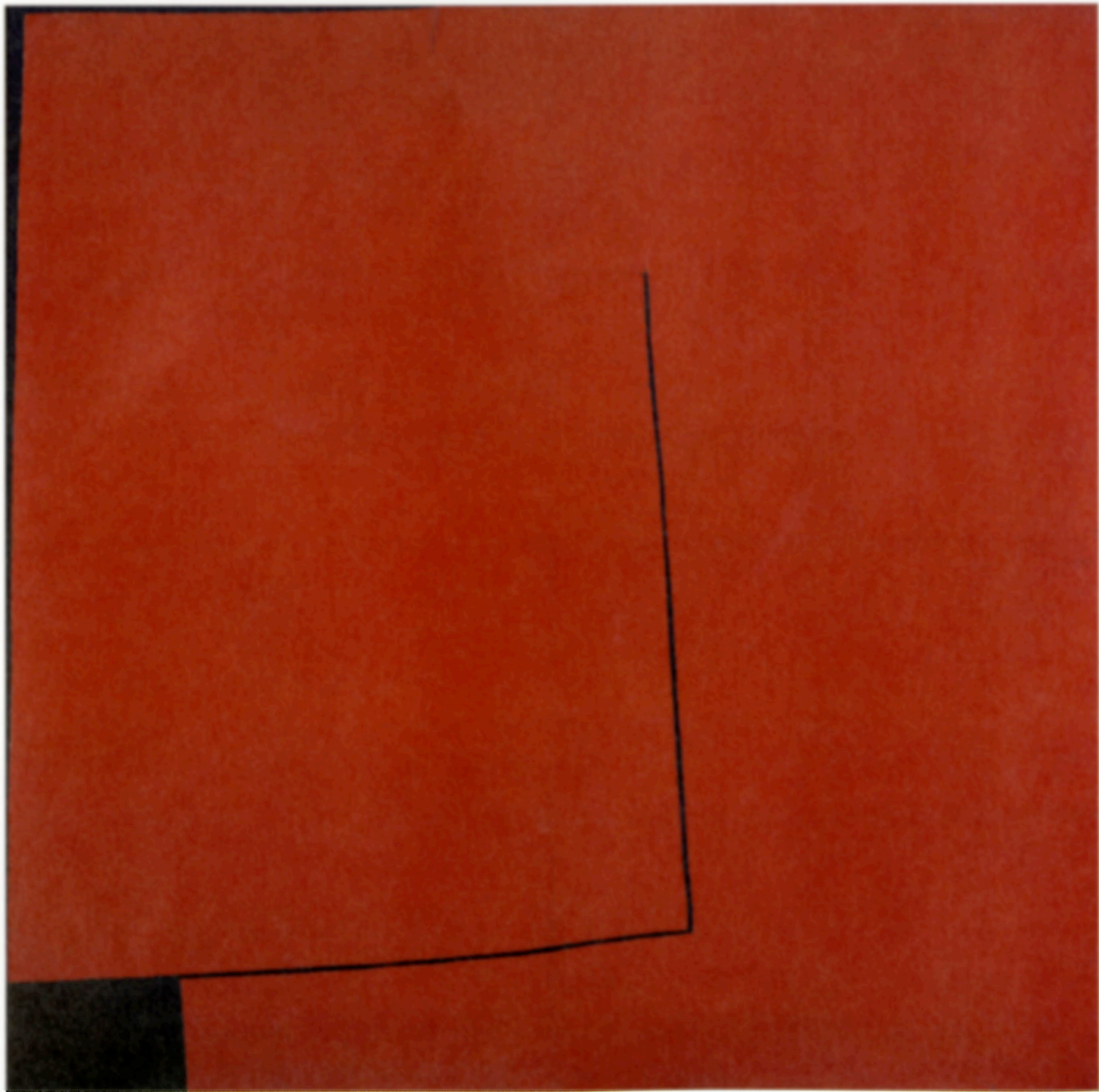
Takeo YAMAGUCHI

山口長男

2014年1月2日(木) — 6月29日(日)

開館時間：9:30—17:00 (入館は16:30まで) 休館日：月曜(ただし1/13、5/5は開館)、1/14(火)、5/7(水)
入館料：一般 900円(800円) / 学生・65歳以上 700円(600円) / 小中学生・高校生 500円(400円) ()内は20名以上の団体料金
※2月15日(土) DIC創業記念日、5月18日(日) 国際博物館の日は入館無料
※5月5日(月・祝) こどもの日は高校生以下入館無料
主催：DIC株式会社 後援：千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

DIC川村記念美術館
Kawamura Memorial DIC Museum of Art



《 捲 》 1965年

ルクレンは語る
Words from the collection



クルト・シュヴィッターズ
《無題(開いた花)》 1942—45/56年

2014年1月2日(木) — 6月29日(日)

開館時間：9:30—17:00 (入館は16:30まで) 休館日：月曜(ただし1/13、5/5は開館)、1/14(火)、5/7(水)
入館料：一般 900円(800円) / 学生・65歳以上 700円(600円) / 小中学生・高校生 500円(400円) ()内は20名以上の団体料金
※2月15日(土) DIC創業記念日、5月18日(日) 国際博物館の日は入館無料
※5月5日(月・祝) こどもの日は高校生以下入館無料
主催：DIC株式会社 後援：千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

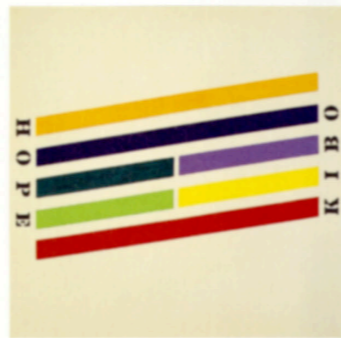
DIC川村記念美術館
Kawamura Memorial DIC Museum of Art



右:ブリジット・ライリー 《朝の歌》
1975年
© Bridget Riley 1975
下:フランク・ステラ 《タンノ》 1963年
© Frank Stella / ARS, New York / JASPAR,
Tokyo, 2013 E0782



左:ジョルジュ・ブラック 《マンドリン》 1912年
© ADAGP, Paris & JASPAR,
Tokyo, 2013 E0782
下:飯田 善國 《HOPE-KIBO》
1973年



202展示室では、日本の近・現代絵画に偉大な足跡を残した山口長男[1902(明治35) - 1983(昭和58)]の作品を展観します。現在の韓国ソウル市(本籍は鹿児島)に生まれた山口は、東京美術学校を卒業し渡仏、佐伯祐三や荻須高徳らと行動をともにした後、ソウルで制作しながら二科会内部の前衛的グループ「九室会」に参加します。戦後帰国後は、黒や茶、黄土色を独自の形態に塗り込めた作品により内外の高い評価を得ています。その作品は、抽象的でありながらも、具体的なものや眼前の対象の観察や接触の積み重ねから制作されており、欧米の抽象絵画とは異なった深い魅力をたたえています。本展示では、1930年代の初期作品から1960-70年代の代表的な作品に至る油彩8点に加え、水彩や絵付け陶器によって山口長男の芸術を多角的に紹介します。

Takeo YAMAGUCHI 山口長男



1



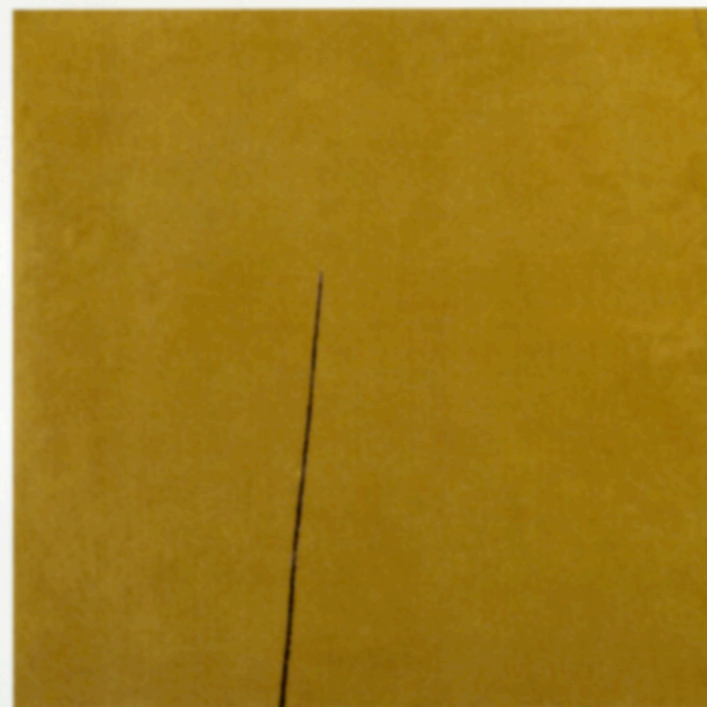
3



4



5



2



6

7

- 1 《庭》 1937年
- 2 《軌》 1968年
- 3 《作品》 1970年
- 4 《作品》 制作年不詳
- 5 《作品》 制作年不詳
- 6 《皿絵付》 制作年不詳
- 7 《皿絵付》 制作年不詳

展覧会のちらし、収蔵品のカタログ、ギャラリートークや音声ガイド、そして作品の脇に添えられたキャプション。美術館にはさまざまな言葉があふれています。言葉によって作品と鑑賞者をつなぐことは、美術館の持つ大きな役割のひとつだと言えるでしょう。そして作品と向かい合う時、私たちは美術館が差し出す言葉を超えて、より自由に考え、感じたことを言葉にして誰かに伝えたり、書き綴ったりします。作品と鑑賞者の間に言葉が生まれる場として、美術館は多様な可能性を秘めているのではないのでしょうか。この展覧会では、コレクション作品と文字・言葉・テキストの関係に着目し、「ことば」という鍵を手がかりとして豊かなイメージの扉を開きます。作品をめぐる数々の言葉によって紡ぎ出される新しい物語をお楽しみください。



SECTION 1

絵の中の風景を見て懐かしい場所を思い出すように、作品を見てふと思ひ浮かべる言葉があります。並んだ作品に、どんな言葉が見えますか？

SECTION 2

画面に書かれたアルファベットや数字、記号。それぞれの作家が用いた手法の違いに注目しながら、作品に投影されたメッセージを読み解きます。

SECTION 3

アリスがウサギを追って穴に落ちたら、そこは美術館でした。コレクション作品が「不思議の国」の登場人物になりすまし、もうひとつの物語の世界「美術館の国のアリス」が繰り広げられます。

SECTION 4

画家のエッセイ、モデルにまつわるエピソード、批評家や文学者のテキストなど、作品をめぐるさまざまな言葉をとりあげます。



上:山口勝弘 《マッシュルーム》 1963年
右:アン・アーノルド 《ラム・タム》 1969年
DR



右:藤田嗣治(レオナルド・フジタ) 《アンナ・ド・ノアイユの肖像》 1926年
© Foundation Fujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2013 E0782



左:ジョゼフ・コーネル 《無題(アンドレ・ブルトン)》 1966年頃
© The Joseph and Robert Cornell Memorial Foundation / VAGA, N.Y. & JASPAR, Tokyo, 2013 E0782

会期中のイベント

- 担当学芸員によるギャラリートーク
1月11日(土)、2月15日(土)、3月21日(金・祝)
4月12日(土)、5月18日(日)、6月14日(土)
14:00 - 15:00
各企画の担当学芸員が展覧会の解説を行います。
予約不要/エントランスホール集合
- ガイドツアー
毎日 14:00 - 15:00
(ギャラリートーク開催日を除く)

- ガイドスタッフコレクション展示と企画展のご案内
予約不要/エントランスホール集合
- ミュージアムコンサート
〜石が奏でる癒しの調べ〜
「小松玲子 サヌカイト&マリンバコンサート」
ゲスト:松岡淳(ピアノ)
3月15日(土) 開場 17:45 開演 18:00
一般 2,800円/友の会会員 2,300円
詳細はHPをご覧ください。

- 音声ガイド
当館収蔵品と展覧会の解説をお聞きいただけます。(1台 500円)
- にわのわアート&クラフトフェア・チバ
5月31日(土)、6月1日(日) 10:00 - 16:00
会場:庭園内(中学生以上 300円)
千葉を愛する作家たちによるクラフト作品などの屋外マーケット。
臨時駐車場からシャトルバスを運行します。
事前にアクセス情報をご確認ください。



主催:「にわのわ」実行委員会
<http://niwanowa.info/>

DIC川村記念美術館 Kawamura Memorial DIC Museum of Art

〒285-8505 千葉県佐倉市坂戸631
tel:0120-498-130
<http://kawamura-museum.dic.co.jp>

【交通案内】

自動車で:
東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手<約10分>、無料駐車場300台
東京駅から高速バスで:
八重洲北口から徒歩5分、京成高速バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス佐倉ICルート」に乗車<約60分>
【行き】東京駅9:55発→美術館10:57着
【帰り】美術館15:29発→東京駅16:26着
東京駅からJRで:
総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車<約60分>、南口の美術館バス停より無料送迎バス<約20分>
上野駅から京成電鉄で:
京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車<約60分>、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス<約30分>

【送迎バス時刻表】

京成佐倉駅 美術館	JR佐倉駅 美術館	美術館 JR佐倉駅 京成佐倉駅
8:50	9:00	—
9:10	9:20	—
9:50	10:00	10:50
10:20	10:30	(11:20)
(10:50)	(11:00)	11:50
11:20	11:30	12:50 歴
(11:50)	(12:00)	(13:20)
12:20	12:30	13:50 佐
—	(13:00)	(14:20)
13:20	13:30	14:50
(13:50)	(14:00)	15:20
14:20	14:30	15:50
(14:50)	(15:00)	(16:20)
15:20	15:30	16:45
15:50	16:00	17:15

()内は土・日・祝日のみ運行
歴:国立歴史民俗博物館経由
佐:佐倉市立美術館経由
※上記の館が休館の場合は経由しません



DIC川村記念美術館 印=案内板